

平成21年度文部科学省・戦略的大学連携支援プログラム採択



学際生命科学東京コンソーシアム ～市民講演会～

大切な「いのち」を守る科学

市民の皆様大切な「いのち」を様々な病気から守る最新の科学を
多彩な講演者が、皆様にわかりやすくお話しします。

演題及び講演者



ワクチンの 効果と限界

中山 哲夫
(北里大学生命科学研究所・教授)



遺伝子の傷を治して 発がんを抑える

花岡 文雄
(学習院大学理学部生命科学科・教授)



食品の安全性を 科学的に考えよう

村田 容常
(お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科
自然・応用科学系・教授)



なぜヒトは免疫疾患に 悩むのか?

鏑田 武志
(東京医科歯科大学大学院疾患生命科学研究所・教授)

特別講演



感染症からいのちを 守る国際研究 ネットワーク

永井 美之
(理化学研究所感染症研究ネットワーク支援センター長)

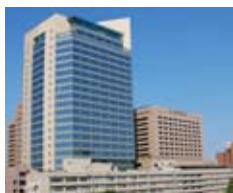
日時／

2010.4.10(土)
13:30～17:00

入場／無料

会場／東京医科歯科大学 湯島キャンパス
歯学部特別講堂 (4F)

JR中央線・総武線「御茶ノ水」駅下車／東京メトロ丸ノ内線
「御茶ノ水」駅、千代田線「新御茶ノ水」駅下車



主催／東京医科歯科大学 後援／文京区
共催／お茶の水女子大学・学習院大学・北里大学

連絡先：東京医科歯科大学・コンソーシアム事務局
東京都文京区湯島1丁目5番45号
Tel: 03-5803-4937
e-mail : gaksai.ict@mri.tmd.ac.jp
<http://gks.tmd.ac.jp/jpn/2010/04/post-2.html>



平成 21 年度文部科学省・戦略的大学連携支援プログラム採択
学際生命科学東京コンソーシアム ～市民講演会～

大切な「いのち」を守る科学

2010.4.10(土) 13:30～17:00

演題及び講演者

●ワクチンの効果と限界

中山 哲夫 (北里大学生命科学研究所・教授)

2007 年 8 月の麻疹、2009 年の新型インフルエンザ(ブタ型 H1N1) の流行にともないワクチンに対する期待が高まり、新しくワクチンが認可されてきています。ワクチンの効果、副反応を自然感染の合併症と比較して考えてみましょう。

●遺伝子の傷を治して発がんを抑える

花岡 文雄 (学習院大学理学部生命科学科・教授)

「がん」は遺伝子の病気です。生命にとって大切な遺伝子が長い間にじわじわと突然変異を重ねて行き着いた一つの悲しい結末、それががんなのです。その原因の大半は遺伝子の傷ですが、我々の身体にはその傷を治す巧妙なしくみが備わっています。こうした遺伝子の傷を治すしくみについてお話します。

●食品の安全性を科学的に考えよう

村田 容常 (お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科自然・応用科学系・教授)

人はなぜ食べるのでしょうか。農薬や食品添加物はなぜ使用するのでしょうか。遺伝子組換え食品はなぜ作られたのでしょうか。食品の安全性を、農業、食品生産、流通、保存、加工といった一連の流れの中で、科学的に考えてみましょう。

●なぜヒトは免疫疾患に悩むのか？

鰐田 武志 (東京医科歯科大学大学院疾患生命科学部・教授)

免疫は人類を含む動物が微生物感染症に対抗するために発達させてきたシステムである。しかしながら、免疫応答はアレルギーや自己免疫疾患の原因ともなっている。そこで、免疫の基本的なしくみの理解から、なぜ人類が種々多彩な免疫疾患に悩まなければならないのか考えてみたい。

特別講演 感染症からいのちを守る国際研究ネットワーク

永井 美之 (理化学研究所感染症研究ネットワーク支援センター長)

「感染症には国境がない」「日本の安全はアジアと世界の安全抜きには語れない」といった背景の下に、日本のアカデミアが途上国を中心に、相手国機関の中に日本側研究者が常駐する共同研究拠点を設置し、それらをネットワーク(NW)化するという文部科学省の事業が2005年に発足した。現在までにアジア6か国、アフリカ2か国に計12の研究拠点が設置され、活発な研究が展開されている。

会場



- 会場／東京医科歯科大学 湯島キャンパス 歯学部特別講堂(4F)
JR 中央線・総武線「御茶ノ水」駅下車／東京メトロ丸ノ内線「御茶ノ水」駅、千代田線「新御茶ノ水」駅下車

- 連絡先／東京医科歯科大学・コンソーシアム事務局
東京都文京区湯島1丁目5番45号
Tel: 03-5803-4937
e-mail: gakusai.ict@mri.tmd.ac.jp
<http://gks.tmd.ac.jp/jpn/2010/04/post-2.html>